

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 山口県岩国市立麻里布小学校

活動名： 将来を見据えた学校事務
 幅広い視野を意識した事務職員へ

解決すべき課題： ベテラン層の退職に伴う世代交代が進む中、中堅世代がリーダーシップを担う場面が増えている。今後の活躍を期待する中で、ミドルリーダーとしての自覚と意識が不足していることが課題である。

目標・方針： 学校事務職員が自校単位の事務処理だけでなく、将来を見据え幅広い視野を持つことにより市町全体の学校事務組織としての問題点や課題を考え、今後の業務を行う中での意識に変革を促したい。

活動内容： 「10年後の本地域の学校事務予想図を想像しよう」グループ協議

- 山口県学校事務職員研究会課題別研修会（参加者95名）
- 岩国和木地域共同実施キャリアステージ別研修会（中堅世代該当者8名）

中央研修の内容を基に10年後の学校事務職員像を想像し、参加者に将来を見据え幅広い視野を持てるよう意識改革を促した。
 [本地域の将来構想(資料1)、課題の共有、解決へ向けての方策協議・内容発表(写真2・3)]

活動の成果： 将来を見据え幅広い視野で学校事務を考えていくことは、日常業務の中では意識する機会が少ない。今回の研修会を実施して次のような意識の変容を感じ取ることができた。

《本地域共同実施キャリアステージ別研修会》

- 1) ほとんどの参加者が「研修を受けて幅広い視野で学校事務を考えることができる」と回答した。(グラフ4)
- 2) 今後の必要な資質の思考や本地域の学校事務の課題を共有した。(資料5・6)
- 3) この研修の後の研修で、グループ研修の司会進行を担い、ミドルリーダーとしての自覚を促した。

[参加者の声・感想]

- ミドルリーダーとしての認識がまだまだ甘いと感じた。
- 10年後、自分たちが学校事務を引っ張っていかなければならないと思知らされた。
- やはり最後には人と人との関係だと思うので 気をつけて日々の仕事に取り組んでいきたい。
- 小中連携やコミスクを活かして備品管理や予算執行など 事務分野でも取り組めることをやっていきたい。

[変容]

- ☆ ミドルリーダーとして将来を展望し、時代の変化に柔軟に対応できる能力を身につけようとする意欲が向上した。
- ☆ 他校の事務職員や教員と連携した取組について、ミドルリーダーとしての専門性や、対人関係を見直す機会につながった。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

- ・将来を見据えた市町全体の学校事務を意識してもらうため、中央研修の講座の中から意識変容につながる内容についてプレゼンソフトを使用して視覚的にわかりやすく復伝を行った。
- ・中堅世代で起こりうる将来を予測し、課題を見つけ、その課題にどのように対応できるかを共有することができた。
- ・少人数でグループワークを通したポスターセッションを行ったことで、それぞれの意見を取り上げることができた。

<写真、図表添付欄>

資料 1



写真 2 県事務職員研究会課題別研修会



写真 3 岩国和木共同実施キャリア別研修会



資料 5 キャリア別研修会後アンケート

幅広い視野で学校事務を考えていくためには、今後どんな資質を付けていくことが必要？

- 情報収集力
- コミュニケーション能力
- 課題解決能力

資料 6 キャリア別研修会後アンケート

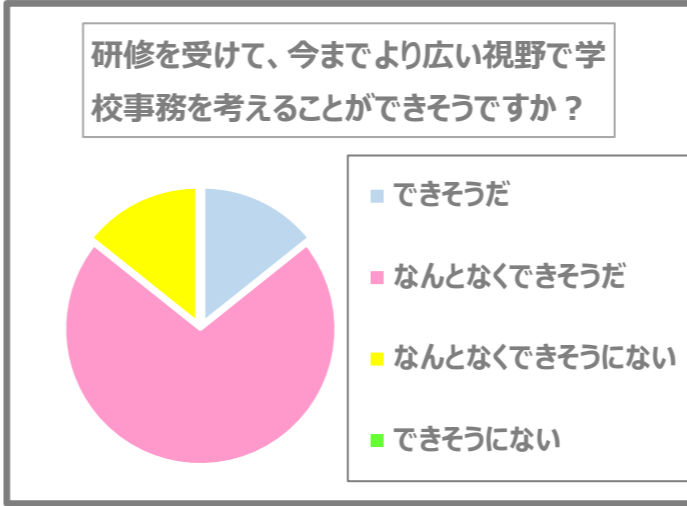
今後の本市町の学校事務の課題は？

- 事務職員の年齢層バランス
- 世代交代による事務の平準化低下
- 事務職員の資質向上

同世代が課題を想像し、共有できた
 将来を見据え予測に対応する力が必要
 地域全体の学校事務を意識する

岩国市立学校 適正規模適正配置に関する基本方針 改訂版(H31.2)抜粋

グラフ 4 キャリア別研修会後アンケート



資料 6 キャリア別研修会後アンケート

今後の本市町の学校事務の課題は？

- 事務職員の年齢層バランス
- 世代交代による事務の平準化低下
- 事務職員の資質向上

同世代が課題を想像し、共有できた
 将来を見据え予測に対応する力が必要
 地域全体の学校事務を意識する